平成25年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成24年10月30日

上場会社名　日本たばこ産業株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　2914　URL　http://www.jti.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 小泉　光臣
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コミュニケーション責任者　(氏名) 田中　泰行　TEL 03-3582-3111

四半期報告書提出予定日　平成24年11月13日　配当支払開始予定日　平成24年11月30日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,057,391	6.0	265,599	25.5	252,106	20.6	171,836	16.7	168,766	17.5	143,704	△34.6
24年3月期第2四半期	997,694	—	211,630	—	208,982	—	147,264	—	143,638	—	219,571	—

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	88.62	88.59
24年3月期第2四半期	75.43	75.40

(注)1.当社グループは、平成24年3月31日に終了する連結会計年度からIFRSを適用しております。従って、平成24年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2.当社は、平成24年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますので、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	3,647,707	1,799,482	1,717,784	47.1	902.06
24年3月期	3,667,007	1,714,626	1,634,050	44.6	858.09

(注)当社は、平成24年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますので、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり親会社所有者帰属持分を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4,000.00	—	6,000.00	10,000.00
25年3月期	—	30.00			
25年3月期(予想)			—	30.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

(注)当社は、平成24年7月1日を効力発生日として、1株につき200株の割合で株式分割を行っております。なお、平成24年3月期の1株当たり配当金については、当該株式分割が行われる前の数値で記載しております。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,093,000	2.9	493,000	7.4	470,000	6.5	324,000	△1.4	318,000	△0.9	166.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

(注)当社は、平成24年7月1日を効力発生日として、1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますので、平成25年3月期の連結業績予想における基本的1株当たり当期利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 ―社 (社名) 、 除外 1社 (社名) JT Canada LLC II Inc.

(注)詳細は9ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更	: 無
② ①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	2,000,000,000 株	24年3月期	2,000,000,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	95,705,200 株	24年3月期	95,705,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	1,904,294,800 株	24年3月期2Q	1,904,294,800 株

(注)当社は、平成24年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますので、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提及び仮定に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。業績予想の前提となる前提及び仮定その他業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、9ページ及び「2013年3月期 第2四半期 決算説明会資料」をご参照ください。
(2)当社は、平成24年7月1日を効力発生日として、1株につき200株の割合で株式分割を行っております。
(3)決算説明会資料等につきましては、当社ウェブサイト(http://www.jti.co.jp/)をご覧ください。

添付資料　目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P6
(3) 連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P9
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・・・・・・・・・ P9
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・・・・・・ P9
3. 要約四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P10
(1) 要約四半期連結財政状態計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P10
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・ P12
(3) 要約四半期連結持分変動計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P14
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P16
(5) セグメント情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P18
(6) 継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P22
(7) 親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記・・・ P22

１．当四半期決算に関する定性的情報

（非 GAAP 指標について）

当社グループは、会計基準において定義されていない指標を追加的に開示しております。これらの指標は、当社グループが中長期的に持続的な成長を目指す上で、各事業運営の業績を把握するために経営管理にも利用している指標であり、財務諸表の利用者が当社グループの業績を評価する上でも、有用な情報であると考えております。

自社たばこ製品売上収益

たばこ事業においては、自社たばこ製品に係る売上収益を、売上収益の内訳として追加的に開示しております。具体的には、国内たばこ事業においては、売上収益から輸入たばこ配送手数料等に係る売上収益を控除し、海外たばこ事業においては、売上収益から物流事業及び製造受託等に係る売上収益を控除しております。

調整後 EBITDA

当社グループの業績の有用な比較情報として、営業利益（損失）から、減価償却費及び償却費、のれんの減損損失、リストラクチャリングに係る収益及び費用を除いた調整後 EBITDA を開示しております。

また、海外たばこ事業における当期の調整後 EBITDA を前年同期の為替レートを用いて換算・算出し、為替影響を除いた、為替一定ベース調整後 EBITDA も追加的に開示しております。

（セグメント変更について）

当社グループは当第 2 四半期より従来の「食品事業」を「飲料事業」「加工食品事業」に区分するセグメントの変更を行っております。詳細につきましては、18 ページ「３．要約四半期連結財務諸表 （５）セグメント情報 ①報告セグメントの概要」をご参照ください。

（１）連結経営成績に関する定性的情報

①全般的概況

売上収益

売上収益につきましては、国内たばこ事業において震災影響のあった前年同期に対し販売数量が増加したこと並びに海外たばこ事業における単価上昇効果及び販売数量の増加等により、前年同期比 597 億円増収の 1 兆 574 億円（対前年同期比 6.0%増）となりました。

	2012 年 3 月期 第 2 四半期 連結累計期間 (億円)	2013 年 3 月期 第 2 四半期 連結累計期間 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
売上収益	9,977	10,574	597	6.0
国内たばこ事業	3,070	3,507	437	14.2
内、自社たばこ製品	2,870	3,350	481	16.8
海外たばこ事業	4,766	4,902	136	2.9
内、自社たばこ製品	4,406	4,570	164	3.7
医薬事業	228	265	37	16.4
飲料事業	994	982	△12	△1.2
加工食品事業	843	839	△4	△0.5

※ 連結外部に対する収益を表示しております。

※ 売上収益には、上記のセグメントに係る売上収益の他、不動産賃貸等に係る売上収益があります。詳細につきましては、19 ページ「３．要約四半期連結財務諸表 （５）セグメント情報 ②セグメント収益及び業績」をご参照ください。

営業利益及び調整後 EBITDA

国内及び海外たばこ事業における増収、前年同期には葉たばこ廃作協力金を計上していたこと等により、営業利益は前年同期比 540 億円増益の 2,656 億円（前年同期比 25.5%増）となりました。また、減価償却費及び償却費、葉たばこ廃作協力金等を除いた調整後 EBITDA につきましては、前年同期比 431 億円増益の 3,291 億円（前年同期比 15.1%増）となりました。なお、為替一定ベース調整後 EBITDA につきましては、前年同期比 670 億円増益の 3,530 億円（前年同期比 23.4%増）となります。

	2012 年 3 月期 第 2 四半期 連結累計期間 (億円)	2013 年 3 月期 第 2 四半期 連結累計期間 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
調整後 EBITDA	2,859	3,291	431	15.1
国内たばこ事業	1,240	1,542	302	24.4
海外たばこ事業	1,623	1,729	106	6.6
医薬事業	△56	△61	△5	―
飲料事業	79	73	△5	△6.8
加工食品事業	△4	27	31	―
営業利益	2,116	2,656	540	25.5

※ 営業利益・調整後 EBITDA には、上記のセグメント以外に係る営業利益・調整後 EBITDA を含みます。詳細につきましては、19 ページ「３．要約四半期連結財務諸表（５）セグメント情報 ②セグメント収益及び業績」をご参照ください。

四半期利益（親会社所有者帰属）

税引前四半期利益につきましては前年同期比 431 億円増益の 2,521 億円（前年同期比 20.6%増）となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては前年同期比 251 億円増益の 1,688 億円（前年同期比 17.5%増）となりました。

②事業別の概況

〔国内たばこ事業〕

当第 2 四半期連結累計期間における国内紙巻たばこの販売数量は、特に前年度第 1 四半期において東日本大震災の影響により銘柄数及び数量を限定した出荷としていたこと等により、前年同期に対し 87 億本増加し 596 億本(注)（前年同期比 17.0%増）となりました。また、当第 2 四半期連結累計期間のシェアは 59.5%（前年度シェア 54.9%）となりました。なお、新商品の投入や販売促進活動の強化等もあり、4～6 月のシェアは 59.4%、7～9 月のシェアは 59.7%と、シェアは引き続き徐々に上昇してきております。

販売数量の増加等により売上収益は前年同期比 437 億円増収の 3,507 億円(前年同期比 14.2%増)、自社たばこ製品売上収益は前年同期比 481 億円増収の 3,350 億円（前年同期比 16.8%増）となりました。なお、国内紙巻たばこの千本当売上収益は 5,507 円となりました。

また利益面では、一部費用増があるものの、販売数量の増加に加え、前年同期には東日本大震災による損失を計上していたこと等により、調整後 EBITDA は前年同期比 302 億円増益の 1,542 億円（前年同期比 24.4%増）となりました。なお、費用増加につきましては、特に出荷銘柄数、数量を限定していた前年度第 1 四半期には販売促進活動を抑制していたことに加え、今年度は競争環境激化の中、シェア上昇、更なるブランド・エクイティ強化のため積極的な販売促進活動を実施していること等によるものです。

（注）当該数値の他に、国内免税市場及び当社の中国事業部管轄の中国・香港・マカオ市場の当第 2 四半期連結累計期間における販売数量 15 億本があります。

〔海外たばこ事業〕

当第2四半期連結累計期間におけるGFB(注1)につきましては、「ウィンストン」がロシア、イタリア、ウクライナで伸張しました。これに加え、「LD」がロシア、トルコ、カザフスタンで増加したこと等により、GFBの販売数量は前年同期に対し88億本増加し1,308億本(前年同期比7.2%増)となりました。またGFBを含む総販売数量は、ロシアにおけるGFB以外の製品の販売減少があったものの、前年11月にスーダンにおける事業基盤を獲得したこと等により、前年同期に対し75億本増加し2,124億本(前年同期比3.7%増)となりました。

また、主要市場の現地通貨において為替のマイナス影響があったものの、単価上昇効果等により、ドルベースの売上収益は前年同期比334百万ドル増収の6,146百万ドル(前年同期比5.7%増)、自社たばこ製品売上収益は前年同期比356百万ドル増収の5,728百万ドル(前年同期比6.6%増)となりました。また調整後EBITDAは、材料費の増加に加え継続的なブランドへの投資、人件費等の経費の増加はあるものの、前年同期比189百万ドル増益の2,168百万ドル(前年同期比9.6%増)となりました。なお、為替一定ベース調整後EBITDAにつきましては、前年同期比421百万ドル増益の2,400百万ドル(前年同期比21.3%増)となります。

この結果、邦貨換算時に円高の影響を受けましたが、売上収益は前年同期比136億円増収の4,902億円(前年同期比2.9%増)、自社たばこ製品売上収益は前年同期比164億円増収の4,570億円(前年同期比3.7%増)、調整後EBITDAは前年同期比106億円増益の1,729億円(前年同期比6.6%増)となりました。

なお、当社グループは欧州諸国等で有力な事業基盤を持つ大手RYO/MYO(注2)たばこ会社であるGryson社の買収を2012年8月に完了しております。

(注1) ブランド・ポートフォリオの根幹を支える「ウィンストン」「キャメル」「マイルドセブン」「ベンソン・アンド・ヘッジス」「シルクカット」「LD」「ソブラニー」「グラマー」の8ブランドをGFB(グローバル・フラッグシップ・ブランド)としております。

(注2) RYOとはRoll Your Ownの略で、一般的に、お客様ご自身の手で巻紙を用いて手巻きするための刻たばこを意味します。MYOとはMake Your Ownの略で、一般的に、お客様が器具と筒状の巻紙を用いて紙巻たばこを作製するための刻たばこを意味します。

※ 当第2四半期連結累計期間における為替レートにつきましては、前年同期比2.24円 円高の1米国ドル＝79.77円(前年同期は1米国ドル＝82.01円)です。
また、主要な現地通貨の米国ドルに対するレートにつきましては、以下のとおりです。

為替レート (1米国ドル)	2012年3月期第2四半期 連結累計期間	2013年3月期第2四半期 連結累計期間
ルーブル	28.65ルーブル	30.60ルーブル
英ポンド	0.62英ポンド	0.63英ポンド
ユーロ	0.72ユーロ	0.77ユーロ

〔医薬事業〕

医薬事業につきましては、後期開発品の迅速且つ円滑な上市による収益基盤の確立を目指しております。開発状況としましては、自社開発品8品目(注)が臨床試験の段階にあります。なお、抗HIV薬「JTK-303」を含む配合錠について、導出先であるギリアド・サイエンシズ社が、2012年8月に米国FDAの承認を取得し、販売を開始しております。本配合錠は欧州医薬品庁等へ引き続き承認申請中です。同社は「JTK-303」単剤についても、米国FDA、欧州医薬品庁等へ承認申請を行っております。また、当社が導出した化合物であるMEK阻害剤につきましては、導出先のグラクソ・スミスクライン社が2012年8月に米国FDAへ承認申請を行っております。

当第2四半期連結累計期間における売上収益につきましては、子会社鳥居薬品㈱における「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」等の増収や、既導出品の開発進展に伴う一時金収入等により、前年同期比37億円増収の265億円(前年同期比16.4%増)となりました。調整後EBITDAにつきましては、開発の進展に伴う研究開発費の増加等により61億円のマイナス(前年同期の調整後EBITDAは56億円のマイナス)となりました。

（注）臨床開発品目につきましては、本日公表の 2013 年 3 月期第 2 四半期決算説明会資料の「臨床開発品目一覧（2012 年 10 月 30 日現在）」をご覧ください。

〔飲料事業〕

飲料事業につきましては、引き続き基幹ブランド「ルーツ」の更なる強化や自動販売機オペレーターであるグループ会社の㈱ジャパンビバレッジホールディングスを中心とした販売網の充実に努めており、これらの取り組みを通じた着実な拡大を図るとともに、収益力の強化に向けた取り組みを推進しています。

当第 2 四半期においては、ルーツ「アロマブラックホットブレンド」をリニューアル発売するとともに、超粗挽き製法でより上品な味わいに進化したルーツ「アロマインパクトシリーズ」4 品、「微糖スペシャル」「リアルスピリット」「カフェオレ」「デミタス」を発売するなど、積極的な商品投入に努めました。

当第 2 四半期連結累計期間における売上収益につきましては、前年同期において震災後の一時的な販売増があった影響等から、前年同期比 12 億円減収の 982 億円（前年同期比 1.2%減）となりました。

調整後 EBITDA につきましては、減収影響に加え、売上構成の変化等により、前年同期比 5 億円減益の 73 億円（前年同期比 6.8%減）となりました。

〔加工食品事業〕

加工食品事業につきましては、冷凍麺、冷凍米飯、パックご飯、焼成冷凍パンといったステープル（主食）商品を中心とした冷凍・常温加工食品、首都圏を中心に店舗を展開するベーカリー及び酵母エキス調味料、オイスターソース等の調味料を主力事業とし、グループ会社であるテーブルマーク㈱を中心として事業を展開しております。なかでも、高い商品力・市場シェアを有するステープル商品に注力するとともに、コスト競争力の強化に努め、収益力の向上に取り組んでおります。

当第 2 四半期においては、「より便利に」「より手軽に」をコンセプトに、2012 年秋季家庭用冷凍食品について、ステープル商品を中心として、過去最多となる新商品 27 品、リニューアル 15 品を投入するなど積極的な商品展開に努めました。

なお、不採算事業の整理と主力事業への一層の注力を図るため、2012 年 8 月にテーブルマークグループにおいて、水産事業からの撤退を決定しております。

当第 2 四半期連結累計期間における売上収益につきましては、ステープル商品の伸張があったものの、水産事業の売上収益減少の影響等から、前年同期と比べて微減の 839 億円（前年同期比 0.5%減）となりました。

原材料高騰影響はあったものの、前年同期においては訴訟関連費用を計上していたこと等により、調整後 EBITDA は 27 億円（前年同期の調整後 EBITDA は 4 億円のマイナス）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前年度末に比べ 604 億円減少し、3,443 億円となりました（前年同期末残高 2,180 億円）。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

当第 2 四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、2,593 億円の収入（前年同期は 2,025 億円の収入）となりました。これは、たばこ事業による安定したキャッシュ・フローの創出等によるものです。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

当第 2 四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、963 億円の支出（前年同期は 378 億円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得及び Gryson 社株式を取得したこと等によるものです。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

当第 2 四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、2,149 億円の支出（前年同期は 1,905 億円の支出）となりました。これは、借入金の返済、社債の償還及び配当金の支払等があったことによるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当期の連結業績予想につきましては、以下のとおり修正いたします。

	2012年3月期 実績 (億円)	2013年3月期 前回予想 (4月26日公表) (億円)	2013年3月期 今回予想 (億円)	前回予想比増減 (億円)
売上収益	20,338	21,200	20,930	△270
国内たばこ事業	6,462	6,820	6,830	10
内、自社たばこ製品	6,119	6,490	6,500	10
海外たばこ事業	9,663	10,070	9,870	△200
内、自社たばこ製品	8,946	9,300	9,210	△90
医薬事業	474	505	520	15
飲料事業(注)	1,888	―	1,870	―
加工食品事業(注)	1,707	―	1,710	―
調整後EBITDA	5,771	5,950	5,950	0
国内たばこ事業	2,623	2,680	2,695	15
海外たばこ事業	3,148	3,340	3,320	△20
医薬事業	△100	△160	△155	5
飲料事業(注)	146	―	125	―
加工食品事業(注)	54	―	70	―
営業利益	4,592	4,830	4,930	100
当期利益（親会社所有者帰属）	3,209	3,180	3,180	0

(注) 当社グループは当第2四半期より従来の「食品事業」を「飲料事業」「加工食品事業」に区分するセグメントの変更を行っております。セグメント変更前である前回予想時には、従来の食品事業の売上収益については3,675億円、調整後EBITDAについては210億円を見込んでおりました。

売上収益及び調整後 EBITDA

売上収益につきましては、為替のマイナス影響等により270億円下方修正の2兆930億円を見込んでおります。調整後EBITDAにつきましては、前回予想と同額の5,950億円を見込んでおります。

各セグメントの見通しにつきましては以下のとおりです。

〔国内たばこ事業〕

販売数量につきましては、上期の総需要が前回予想時の想定より強めに推移していること等を踏まえ、10億本上方修正の1,155億本を見込んでおります。

この前提等を踏まえ、売上収益につきましては10億円上方修正の6,830億円、自社たばこ製品売上収益につきましては10億円上方修正の6,500億円を見込んでおります。また、調整後EBITDAにつきましても15億円上方修正の2,695億円を見込んでおります。

現状のシェア水準に満足することなく、下期はマイルドセブン（メビウス）への注力も含め、今後とも更なるシェア上昇へ向けて引き続き最大限努力してまいります。

※見通しの前提となる販売数量

	前回予想	今回予想
販売数量	1,145億本	1,155億本

〔海外たばこ事業〕

足許までの状況を踏まえ、GFB の販売数量は 40 億本上方修正の 2,680 億本、総販売数量は 70 億本上方修正の 4,370 億本を見込んでおります。

販売数量の上方修正に加え、前回予想時を上回る単価上昇効果を見込むものの、為替のマイナス影響等により、売上収益は 200 億円下方修正の 9,870 億円、自社たばこ製品売上収益は 90 億円下方修正の 9,210 億円、調整後 EBITDA は 20 億円下方修正の 3,320 億円を見込んでおります。

※見通しの前提となる販売数量及び為替レート

	前回予想	今回予想
総販売数量	4,300 億本	4,370 億本
内、GFB 販売数量	2,640 億本	2,680 億本
為替レート（1 米国ドル）	80.00 円	79.00 円

（注） 今回予想時に前提とした主要な現地通貨の米国ドルに対するレートにつきましては、以下のとおりです。

為替レート （1 米国ドル）	前回予想	今回予想
ルーブル	30.00 ルーブル	31.50 ルーブル
英ポンド	0.63 英ポンド	0.64 英ポンド
ユーロ	0.75 ユーロ	0.80 ユーロ

なお、当社グループは、グローバル No.1 プレミアムブランドを目指して、マイルドセブンのブランド名称を全世界においてメビウス（MEVIUS）に刷新し、また併せてデザインについても世界で統一いたします。

日本国内においては、2012 年 11 月上旬より新デザインへ、2013 年 2 月上旬より新ブランド名称メビウスへ順次切り替える予定です。海外においては、日本国内に先行して 2012 年 4 月より新デザインへの切り替えを開始し、新ブランド名称に順次切り替える予定です。

〔医薬事業〕

売上収益につきましては、既導出品に係る一時金収入の増加、鳥居薬品の増収等により、15 億円上方修正の 520 億円を見込んでおります。また、調整後 EBITDA につきましては、5 億円上方修正の 155 億円のマイナス（前回予想は 160 億円のマイナス）を見込んでおります。

〔飲料事業〕

売上収益につきましては、基幹ブランド「ルーツ」の継続的な伸張を図る一方、震災後の一時的な販売増があった前年度と比べ微減の 1,870 億円（前年度比 18 億円減）を見込んでおります。また、調整後 EBITDA につきましては、営業力強化に向けた費用の増加等から 125 億円（前年度比 21 億円減）を見込んでおります。

〔加工食品事業〕

売上収益につきましては、水産事業からの撤退に伴う売上収益の減少はあるものの、付加価値の向上によるステープル商品の伸張に伴う売上増等により、1,710 億円（前年度比 3 億円増）を見込んでおります。調整後 EBITDA につきましては、原材料高騰影響等はあるものの 70 億円（前年度比 16 億円増）を見込んでおります。

当期利益（親会社所有者帰属）

親会社の所有者に帰属する当期利益につきましては前回予想と同額の 3,180 億円を見込んでおります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

資本整備に伴い特定子会社である JT Canada LLC Ⅱ Inc. は 2012 年 4 月に解散しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

※ 上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2013 年 3 月期 第 2 四半期 決算説明会資料」に記載しております。

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しております。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます。（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。）

(1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
(2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
(3) 国内外の訴訟の動向
(4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
(5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
(6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
(7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
(8) 国内外の経済状況
(9) 為替変動及び原材料費の変動

３．要約四半期連結財務諸表

（１）要約四半期連結財政状態計算書

	前年度 (2012年３月31日)	当第２四半期 (2012年９月30日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	404,740	344,309
営業債権及びその他の債権	327,767	344,935
棚卸資産	446,617	444,879
その他の金融資産	27,361	29,619
その他の流動資産	123,163	121,509
小計	1,329,649	1,285,252
売却目的で保有する非流動資産	1,401	4,525
流動資産合計	1,331,050	1,289,777
非流動資産		
有形固定資産	619,536	622,653
のれん	1,110,046	1,139,322
無形資産	306,448	309,514
投資不動産	67,387	62,700
退職給付に係る資産	14,371	15,476
持分法で会計処理されている投資	18,447	20,445
その他の金融資産	67,548	64,094
繰延税金資産	132,174	123,726
非流動資産合計	2,335,957	2,357,930
資産合計	3,667,007	3,647,707

	前年度 (2012年３月31日)	当第２四半期 (2012年９月30日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	298,663	278,955
社債及び借入金	211,766	82,212
未払法人所得税等	42,501	62,966
その他の金融負債	8,039	6,924
引当金	5,686	5,616
その他の流動負債	590,717	621,098
小計	1,157,373	1,057,771
売却目的で保有する非流動資産に直接関連する負債	101	301
流動負債合計	1,157,474	1,058,073
非流動負債		
社債及び借入金	279,750	257,135
その他の金融負債	20,994	23,684
退職給付に係る負債	315,020	326,163
引当金	4,448	6,968
その他の非流動負債	92,235	92,066
繰延税金負債	82,460	84,137
非流動負債合計	794,906	790,152
負債合計	1,952,380	1,848,225
資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	736,410	736,410
自己株式	(94,574)	(94,574)
その他の資本の構成要素	(376,363)	(394,489)
利益剰余金	1,268,577	1,370,437
親会社の所有者に帰属する持分	1,634,050	1,717,784
非支配持分	80,576	81,698
資本合計	1,714,626	1,799,482
負債及び資本合計	3,667,007	3,647,707

(2)要約四半期連結損益計算書及び要約四半期包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

	前第２四半期 (自 2011年４月１日 至 2011年９月30日)	当第２四半期 (自 2012年４月１日 至 2012年９月30日)
	百万円	百万円
売上収益	997,694	1,057,391
売上原価	(440,654)	(444,552)
売上総利益	557,040	612,839
その他の営業収益	12,220	4,510
持分法による投資利益	1,259	2,354
販売費及び一般管理費等	(358,890)	(354,104)
営業利益	211,630	265,599
金融収益	8,604	1,963
金融費用	(11,252)	(15,457)
税引前四半期利益	208,982	252,106
法人所得税費用	(61,718)	(80,270)
四半期利益	147,264	171,836
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	143,638	168,766
非支配持分	3,626	3,070
四半期利益	147,264	171,836
１株当たり四半期利益		
基本的１株当たり四半期利益（円）	75.43	88.62
希薄化後１株当たり四半期利益（円）	75.40	88.59

営業利益から調整後EBITDAへの調整表

	前第２四半期 (自 2011年４月１日 至 2011年９月30日)	当第２四半期 (自 2012年４月１日 至 2012年９月30日)
	百万円	百万円
営業利益	211,630	265,599
減価償却費及び償却費	58,896	56,850
リストラクチャリングに係る収益	(7,631)	(1,228)
リストラクチャリングに係る費用	23,029	7,850
調整後EBITDA	285,924	329,071

要約四半期連結包括利益計算書

	前第２四半期 （自 2011年４月１日 至 2011年９月30日）	当第２四半期 （自 2012年４月１日 至 2012年９月30日）
	百万円	百万円
四半期利益	147,264	171,836
その他の包括利益		
在外営業活動体の換算差額	71,344	(17,833)
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動額の有効部分	(220)	47
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	1,348	(570)
数理計算上の差異	(165)	(9,776)
税引後その他の包括利益	72,306	(28,132)
四半期包括利益	219,571	143,704
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	215,670	140,790
非支配持分	3,901	2,913
四半期包括利益	219,571	143,704

(3)要約四半期連結持分変動計算書

	親会社の所有者に帰属する持分						
				その他の資本の構成要素			
	資本金	資本剰余金	自己株式	新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動額の有効部分	その他有価証券評価差額金
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2011年４月１日　残高	100,000	736,410	(94,574)	763	(257,262)	－	5,754
新会計基準適用による累積的影響額	－	－	－	－	－	(142)	(5,754)
四半期利益	－	－	－	－	－	－	－
その他の包括利益	－	－	－	－	71,072	(220)	－
四半期包括利益	－	－	－	－	71,072	(220)	－
株式報酬取引	－	－	－	49	－	－	－
配当金	－	－	－	－	－	－	－
支配の喪失とならない子会社に対する所有者持分の変動	－	－	－	－	－	－	－
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	－	－	－	－	－	－	－
その他の増減	－	－	－	－	－	－	－
所有者との取引額等合計	－	－	－	49	－	－	－
2011年９月30日　残高	100,000	736,410	(94,574)	812	(186,191)	(362)	－
2012年４月１日　残高	100,000	736,410	(94,574)	1,028	(387,228)	(309)	－
四半期利益	－	－	－	－	－	－	－
その他の包括利益	－	－	－	－	(17,671)	47	－
四半期包括利益	－	－	－	－	(17,671)	47	－
株式報酬取引	－	－	－	72	－	－	－
配当金	－	－	－	－	－	－	－
支配の喪失とならない子会社に対する所有者持分の変動	－	－	－	－	－	－	－
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	－	－	－	－	－	－	－
その他の増減	－	－	－	－	－	－	－
所有者との取引額等合計	－	－	－	72	－	－	－
2012年９月30日　残高	100,000	736,410	(94,574)	1,101	(404,899)	(262)	－

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素						
	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	数理計算上の差異	合計	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2011年４月１日　残高	－	－	(250,745)	1,034,054	1,525,145	76,166	1,601,311
新会計基準適用による累積的影響額	5,551	－	(344)	97	(247)	47	(201)
四半期利益	－	－	－	143,638	143,638	3,626	147,264
その他の包括利益	1,345	(165)	72,032	－	72,032	275	72,306
四半期包括利益	1,345	(165)	72,032	143,638	215,670	3,901	219,571
株式報酬取引	－	－	49	－	49	－	49
配当金	－	－	－	(38,086)	(38,086)	(1,223)	(39,309)
支配の喪失とならない子会社に対する所有者持分の変動	－	－	－	(374)	(374)	(18)	(392)
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	(12)	165	153	(153)	－	－	－
その他の増減	－	－	－	－	－	225	225
所有者との取引額等合計	(12)	165	202	(38,613)	(38,411)	(1,016)	(39,427)
2011年９月30日　残高	6,885	－	(178,856)	1,139,176	1,702,156	79,099	1,781,255
2012年４月１日　残高	10,146	－	(376,363)	1,268,577	1,634,050	80,576	1,714,626
四半期利益	－	－	－	168,766	168,766	3,070	171,836
その他の包括利益	(575)	(9,776)	(27,976)	－	(27,976)	(156)	(28,132)
四半期包括利益	(575)	(9,776)	(27,976)	168,766	140,790	2,913	143,704
株式報酬取引	－	－	72	－	72	－	72
配当金	－	－	－	(57,129)	(57,129)	(2,261)	(59,390)
支配の喪失とならない子会社に対する所有者持分の変動	－	－	－	－	－	－	－
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	0	9,776	9,777	(9,777)	－	－	－
その他の増減	－	－	－	－	－	469	469
所有者との取引額等合計	0	9,776	9,849	(66,906)	(57,057)	(1,792)	(58,848)
2012年９月30日　残高	9,571	－	(394,489)	1,370,437	1,717,784	81,698	1,799,482

(4)要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第２四半期 (自 2011年４月１日 至 2011年９月30日)	当第２四半期 (自 2012年４月１日 至 2012年９月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	208,982	252,106
減価償却費及び償却費	58,896	56,850
減損損失	3,566	2,814
受取利息及び受取配当金	(1,371)	(1,857)
支払利息	8,267	5,207
持分法による投資損益（益）	(1,259)	(2,354)
有形固定資産、無形資産及び投資不動産除売却損益（益）	(4,798)	805
営業債権及びその他の債権の増減額（増加）	(27,161)	(16,260)
棚卸資産の増減額（増加）	2,567	6,919
営業債務及びその他の債務の増減額（減少）	(11,663)	(4,651)
退職給付に係る負債の増減額（減少）	(2,846)	(2,468)
前払たばこ税の増減額（増加）	1,522	5,869
未払たばこ税等の増減額（減少）	24,721	30,457
未払消費税等の増減額（減少）	7,099	(4,402)
その他	6,869	(18,730)
小計	273,390	310,304
利息及び配当金の受取額	3,369	2,850
利息の支払額	(11,712)	(6,539)
法人所得税等の支払額	(62,554)	(47,346)
営業活動によるキャッシュ・フロー	202,493	259,269
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の取得による支出	(5,606)	(1,113)
投資の売却及び償還による収入	19,243	2,313
有形固定資産の取得による支出	(41,762)	(44,755)
無形資産の取得による支出	(8,762)	(9,630)
定期預金の預入による支出	(23,434)	(22,348)
定期預金の払出による収入	11,623	23,368
子会社株式の取得による支出	－	(45,593)
その他	10,919	1,479
投資活動によるキャッシュ・フロー	(37,779)	(96,279)

	前第２四半期 （自 2011年４月１日 至 2011年９月30日）	当第２四半期 （自 2012年４月１日 至 2012年９月30日）
	百万円	百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー		
支払配当金	(38,079)	(57,116)
非支配持分への支払配当金	(1,223)	(2,261)
非支配持分からの払込みによる収入	346	216
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額（減少）	(1,894)	(12,852)
長期借入による収入	―	544
長期借入金の返済による支出	(10,683)	(80,679)
社債の償還による支出	(135,790)	(60,350)
ファイナンス・リース債務の返済による支出	(2,744)	(2,402)
非支配持分からの子会社持分の取得による支出	(392)	―
財務活動によるキャッシュ・フロー	(190,458)	(214,900)
現金及び現金同等物の増減額（減少）	(25,744)	(51,910)
現金及び現金同等物の期首残高	244,240	404,740
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	(521)	(8,522)
現金及び現金同等物の四半期末残高	217,975	344,309

(５)セグメント情報

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績の評価をするために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定されております。

当社グループは主に製造たばこ、医薬品、飲料、加工食品を製造・販売しており、そのうち製造たばこについては、国内と海外に分けて事業管理を行っております。従って当社グループは、製品の種類、性質、販売市場等から総合的に区分されたセグメントから構成されており、「国内たばこ事業」、「海外たばこ事業」、「医薬事業」、「飲料事業」、「加工食品事業」の５つを報告セグメントとしております。

なお、当社グループは2012年７月１日より、従来食品事業に含まれていた、飲料事業・加工食品事業それぞれを、経営資源の配分及び業績の評価の対象となる、独立の事業部門とする組織変更を行っております。これに伴い、当第２四半期のセグメント情報より「食品事業」を「飲料事業」、「加工食品事業」に区分する変更を行っております。また、前第２四半期のセグメント情報についても遡及修正を行っております。

「国内たばこ事業」は、国内(国内免税市場及び当社の中国事業部が管轄する中国、香港、マカオ市場を含みます)での製造たばこの製造・販売を行っております。「海外たばこ事業」は、製造・販売を統括するJT International S.A.を中核として、海外での製造たばこの製造・販売を行っております。「医薬事業」は、医療用医薬品の研究開発・製造・販売を行っております。「飲料事業」は、清涼飲料水の製造・販売を行っております。「加工食品事業」は、加工食品、調味料の製造・販売等を行っております。

② セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりであります。取締役会は、収益と調整後EBITDAを検討のうえ、セグメント業績を評価し、経営資源の配分を決定しております。金融収益、金融費用、法人所得税費用はグループ本社で管理されるため、これらの収益・費用はセグメントの業績から除外しております。なお、セグメント間の取引は概ね市場実勢価格に基づいております。

前第２四半期（自 2011年４月１日　至 2011年９月30日）

	報告セグメント						その他（注３）	消去	連結
	国内たばこ	海外たばこ（注２）	医薬	飲料	加工食品	計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益									
外部収益(注４)	306,968	476,611	22,774	99,374	84,307	990,034	7,660	－	997,694
セグメント間収益	14,954	15,967	－	42	414	31,378	4,667	(36,044)	－
収益合計	321,921	492,579	22,774	99,417	84,721	1,021,412	12,327	(36,044)	997,694
セグメント損益									
調整後EBITDA(注１)	123,969	162,260	(5,563)	7,854	(376)	288,144	(1,642)	(577)	285,924

当第２四半期（自 2012年４月１日　至 2012年９月30日）

	報告セグメント						その他（注３）	消去	連結
	国内たばこ	海外たばこ（注２）	医薬	飲料	加工食品	計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益									
外部収益(注４)	350,673	490,240	26,515	98,197	83,876	1,049,502	7,889	－	1,057,391
セグメント間収益	15,243	16,897	－	64	361	32,565	4,600	(37,165)	－
収益合計	365,916	507,138	26,515	98,261	84,238	1,082,067	12,489	(37,165)	1,057,391
セグメント損益									
調整後EBITDA(注１)	154,207	172,906	(6,062)	7,322	2,711	331,084	(1,665)	(348)	329,071

調整後EBITDAから税引前四半期利益への調整表

前第２四半期（自 2011年４月１日　至 2011年９月30日）

	報告セグメント						その他（注３）	消去	連結
	国内たばこ	海外たばこ（注２）	医薬	飲料	加工食品	計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
調整後EBITDA（注１）	123,969	162,260	(5,563)	7,854	(376)	288,144	(1,642)	(577)	285,924
減価償却費及び償却費	(19,116)	(28,106)	(1,700)	(5,098)	(3,636)	(57,656)	(1,399)	160	(58,896)
リストラクチャリングに係る収益（注５）	－	－	－	－	－	－	7,631	－	7,631
リストラクチャリングに係る費用（注５）	(12,813)	(8,731)	－	－	(132)	(21,676)	(1,353)	－	(23,029)
営業利益（損失）	92,039	125,424	(7,263)	2,756	(4,144)	208,811	3,236	(418)	211,630
金融収益									8,604
金融費用									(11,252)
税引前四半期利益									208,982

当第２四半期（自 2012年４月１日　至 2012年９月30日）

	報告セグメント						その他（注３）	消去	連結
	国内たばこ	海外たばこ（注２）	医薬	飲料	加工食品	計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
調整後EBITDA（注１）	154,207	172,906	(6,062)	7,322	2,711	331,084	(1,665)	(348)	329,071
減価償却費及び償却費	(19,623)	(25,306)	(1,659)	(4,969)	(3,538)	(55,097)	(1,910)	157	(56,850)
リストラクチャリングに係る収益（注５）	1,200	5	－	－	－	1,205	23	－	1,228
リストラクチャリングに係る費用（注５）	(96)	(2,785)	－	－	(2,729)	(5,610)	(2,240)	－	(7,850)
営業利益（損失）	135,688	144,820	(7,721)	2,353	(3,556)	271,583	(5,792)	(191)	265,599
金融収益									1,963
金融費用									(15,457)
税引前四半期利益									252,106

(注１) 調整後EBITDAは、営業利益(損失)から減価償却費及び償却費、のれんの減損損失、リストラクチャリングに係る収益及び費用を除外しております。

(注２) 「海外たばこ」に区分したJT International S.A.を中核とする海外子会社グループの年度決算日は12月31日であり、１月１日から６月30日までの損益等を前第２四半期及び当第２四半期に計上しております。

(注３) 「その他」には、不動産賃貸に係る事業活動等及び報告セグメントに帰属しない企業広報経費や本社コーポレート部門運営費等の本社経費が含まれております。

(注４) 国内たばこ事業及び海外たばこ事業における自社たばこ製品売上収益は、以下のとおりであります。

	前第２四半期 (自 2011年４月１日 至 2011年９月30日)	当第２四半期 (自 2012年４月１日 至 2012年９月30日)
	百万円	百万円
国内たばこ	286,952	335,018
海外たばこ	440,578	456,958

(注５) リストラクチャリングに係る収益には、不動産の処分に伴う売却益等のリストラクチャリング収益を含んでおります。また、リストラクチャリングに係る費用には、工場閉鎖等に係るリストラクチャリング費用の他、葉たばこ農家に対する廃作協力金を含んでおります。

リストラクチャリングに係る費用の主な内訳は、以下のとおりであります。

	前第２四半期 (自 2011年４月１日 至 2011年９月30日)	当第２四半期 (自 2012年４月１日 至 2012年９月30日)
	百万円	百万円
リストラクチャリング費用	10,676	7,845
葉たばこ農家に対する廃作協力金	12,353	4
リストラクチャリングに係る費用	23,029	7,850

前第２四半期におけるリストラクチャリング費用は、国内たばこ事業における防府工場の閉鎖、海外たばこ事業におけるHainburg工場の閉鎖等に係る費用を含んでおります。

当第２四半期におけるリストラクチャリング費用は、海外たばこ事業における合理化施策及び加工食品事業における水産事業撤退に係る費用を含んでおります。

(６)継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(７)親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。